



航空連ニュース

航空労組連絡会
 大田区羽田5-11-4 フェニックスビル
 Tel 03-3742-3251
 Fax 03-5737-7819
 No242(23-01) 2008年10月7日
 e-mail/kokuren@phenix.or.jp

雇用と労働条件守り、組織強化進めよう

08年度方針 環境問題、ITF加盟の組織討論を



開会の挨拶をする航空連・山口宏弥議長

航空連は9月15、16の両日に第23回定期総会を開催し2007年度総括と2008年度方針を満場一致で決め、あわせて当面する年末方針についても決定しました。

2008年度方針では、新たに国際運輸労連（ITF）への加盟に向けた組織討論の開始、環境問題への取り組みを加え積極的な運動を展開していきます。当面する年末方針では、生活向上につながる一時金の確保とあわせ、日本航空の5%賃金カット問題への取り組みを関係労組と連携をとりながら対応していくことを確認しました。

総会で挨拶した山口宏弥議長は、最初に総会直前に開かれたIAM大会に参加した感想を述べ、IAMに加盟するボーイングの労働者がストライキによって3年間で11%の賃上げを勝ち取った、そしてアライアンスが新たな段階にあり注視しなければならない、そしてグローバル化の中で人権・雇用・労働条件を守るには国際的な団結、組合活動が共通認識になっていることを紹介しました。昨今の情勢について、日本経済が株主優先になり、国民は益々負担増を強い

られるゆがんだ構造になっていることを強調し、今後の情勢として、衆議院の解散・総選挙が間近に迫っていること、マスコミ報道に惑わされず暮らしや平和の視点で考える必要がある。政策課題についてももっと力を入れていきたい。組織問題では、不当労働行為への対応とあわせ、身近にある職場の問題を掘り下げ積極的に対応していくことが組織の拡大強化につながる、と挨拶しました。

総会では、解雇問題の解決やNW客乗強制配転裁判の勝訴、日本航空の期末手当をめぐる闘い、グループ内共闘強化で勝ち取った成果などが報告されました。また例年になく組織問題での発言が相次ぎ、各労組からは労働組合対策に力を入れる会社の介入の実態がリアルに報告され、組織の拡大強化、要求前進に向けた経験も数多く報告されました。また各争議の当事者からは現状と到達点などが報告され、引き続き力強い支援を確認しました。

当面する年末闘争は、生活向上の図れる一時金の確保とあわせ、日本航空の賃金5%カット問題をめぐる闘いを力強く進めることを確認しました。

ロゴマーク募集のご案内

航空連は以下の要領でロゴマークを募集します。ふるってご応募下さい。

1. 募集期間 08年10月1日～12月31日
2. 応募方法 ロゴマークをFAXもしくはEメールで航空連に送付願います。
3. 審査発表 09年2月
4. その他 採用された方には記念品進呈
5. 問い合わせ 航空連事務局
03-3742-3251

雇用契約や労働条件などの相談は
 航空連に 03-3742-3251